

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

## 間質性膀胱炎・膀胱痛症候群診療ガイドライン

日本間質性膀胱炎研究会/日本泌尿器科学会

リッチヒルメディカル 2019 年 4 月 25 日 第 1 版 発行

Minds 掲載 無

### Grading Scale of Strength of Evidence

- 1: 2 つ以上のレベル I の研究に裏付けられる
- 2: 1 つ以上のレベル I か、複数のレベル II の研究に裏付けられる
- 3: レベル III の研究に裏付けられる
- 4: レベル IV の研究に裏付けられる
- 5: レベル V の研究に裏付けられる

Clinical Principle: 文献的なエビデンスはあってもなくても、泌尿器科医や他の臨床医に広く実施されている基本的な臨床的内容である

Expert Opinion: 文献的なエビデンスはないが、ガイドライン委員会の臨床トレーニング、経験、知識および判断に基づく臨床的内容の総意である

### Grading Scale of Strength of Evidence (論文のエビデンスレベル)

- I: 大規模 RCT で結果が明らかなもの
- II: 小規模な RCT で結果が明らかなもの
- III: 無作為割り付けによらない比較対象研究
- IV: 前向き対照のない観察研究
- V: 後ろ向きの症例研究か専門家の意見

### Grading Scale of Strength of Recommendation

- A: 行うよう強く勧められる
- B: 行うよう勧められる
- C: 行うよう勧められるだけの根拠がない
- C1: 行ってもよい

C2: 行うよう勧められない

D: 行わないよう勧められる

保留: 推奨のグレードを決められない

## ■1 竜胆瀉肝湯, 猪苓湯, 牛車腎気丸, 清心蓮子飲, 当帰 四逆加呉茱萸生姜湯, 加味逍遙散, 補中益気湯, 桃核承 気湯

疾患:

IC/BPS

CPG 中の Strength of Evidence:

レベル5 (後ろ向きの症例研究か専門家の意見)

CPG 中の Strength of Recommendation:

C1 (行ってもよい)

引用など:

関口由紀, 畔越陽子, 河路かおる, 長崎直美, 永井美江, 金子容子, 吉田 実, 窪田吉信.  
間質性膀胱炎/慢性骨盤痛症候群に対し漢方併用療法が効果的であった 4 例. *日本東洋  
医学会誌* 2014; 65: 268 -272 (V)

有効性に関する記載ないしその要約:

薬物治療: 漢方薬の項目で以下の記載がある

『有効性の根拠は低い(レベル 5), 有効とする報告もある(レベル 5)。重大な副作用は少ない。』

『IC/BPS 患者の疼痛緩和と自律神経失調症状の治療に西洋薬と漢方薬を併用し, 有効であったと報告』